

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年10月9日（木）

2 確認箇所

- ・雨水回収タンク（J2及びJ3雨水回収タンクエリア）（図1）
- ・ブルータンクエリアC（図1）

3 確認項目

- （1）雨水回収タンクの設置状況
- （2）横置き型ブルータンクの保管状況

4 確認結果の概要

（1）雨水回収タンクの設置状況

タンクエリアの堰内に溜まった雨水は、雨水回収タンクに集められ、放射能濃度が散水基準を満足していることを確認した後に、計画的に構内に散水されている。一方、基準を満たしていない雨水については、逆浸透膜（RO）※で処理し、処理水が基準を満たしていることを確認した後に、同様に構内に散水されている。

本日は、J2及びJ3雨水回収タンクエリアの状況について確認した。

（前回確認：令和6年10月22日）

- ・現場確認時は、J2及びJ3雨水回収タンクから雨水の移送作業は行われていなかった。
- ・雨水回収タンクのサンプリング弁及び払出弁等は南京錠及びチェーンで固縛されており、安易に操作することが出来なくなっていた。（写真1）
- ・確認した範囲において、雨水移送ルートや散水ラインからの漏えい等はなかった。（写真2）

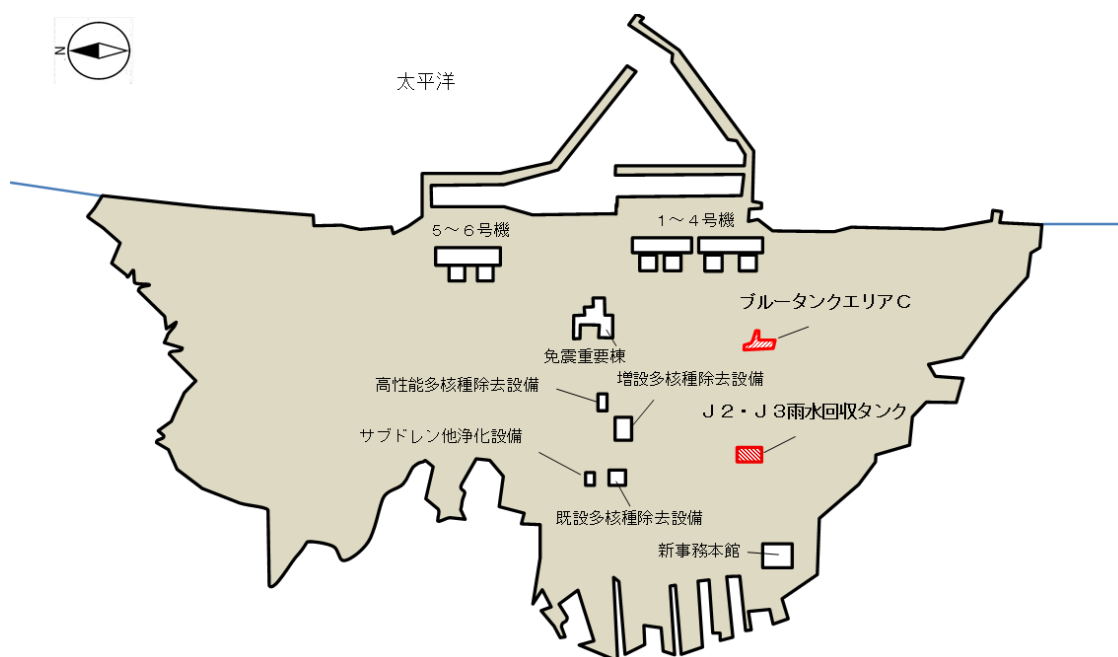
※逆浸透膜（RO）：水は通すがイオンや塩類など水以外の不純物は透過しないろ過膜の一種。これにより、雨水に含まれる放射性物質等の不純物を除去する。

（2）横置き型ブルータンクの保管状況

溶接型タンクへのリプレース（取り替え）に伴い撤去された横置き型ブルータンク（以下「ブルータンク」という。）は、構内4箇所（ブルータンクエリアA～D）に保管されている。今回は、1～4号機周辺防護区域外にあるブルータンクエリアCの現況を確認した。（前回確認：令和6年5月30日）

- ・単管パイプ及び立入禁止の標示による立入制限が施されていた。（写真3）

- ・ブルータンクは2段積みで保管されており、ボルトやラッシングベルト（固縛帯）で固定されていた。（写真4）
- ・一部のブルータンクにおいて、表面の腐食が認められたが、損傷等は見られなかった。また、確認した範囲でタンク内容物の漏えい等の異常は確認されなかった。（写真5）



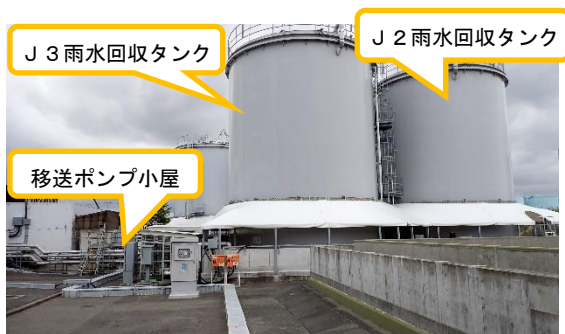
（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



（写真1①）サンプリング弁の状況



（写真1②）J2タンク払出弁の状況



(写真2①) J2及びJ3雨水回収タンク (700m³ × 2基)
※東側から撮影



(写真2②) 移送ポンプ小屋の設置状況



(写真2③) J3タンク雨水回収タンク払出弁 (閉状態)



(写真2④) J2及びJ3雨水回収タンクからの散水ライン



(写真3①) タンクエリアCの状況①
※南西側から撮影



(写真3②) タンクエリアCの状況②
※南東側から撮影



(写真 4 ①) 鉄骨への固定状況



(写真 4 ②) ラッシングベルトによる
固定状況



(写真 5 ①) 表面の腐食状況①



(写真 5 ②) 表面の腐食状況②

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。